

パソコン 基礎知識初級 ・ファイルと フォルダと 拡張子



目次



調べたい各項目をクリックすれば、
該当のページにジャンプすることができます。

[1.ファイルとは](#)

[2.拡張子とは](#)

[3.フォルダとは](#)

1 ファイルとは

パソコンはファイルという単位でデータやソフトウェアを管理し、保存しています。



←Wordの
データファイル。



←Excelの
データファイル。

- ◆プログラムファイル・・・別名「実行ファイル」とも言います。
コンピュータが実行することのできる命令ファイル。
このファイルをダブルクリックすると何らかのプログラムが実行され、処理されます。
「.exe」「.com」「.bat」などの拡張子がついています。

- ◆データファイル・・・・・・・・・・パソコンを使用しているユーザーがワードやエクセルなどのアプリケーションを使って作成したデータ。

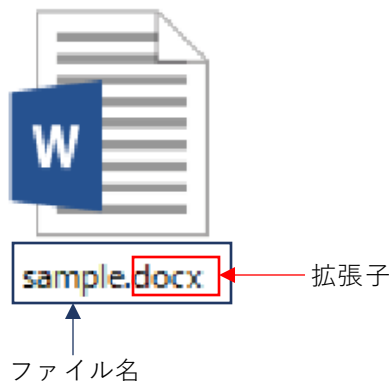
- 画像ファイル・・・・・・・・・・「.jpg」「.png」など
- Officeファイル・・・・・・・・・・「.docx」「.xlsx」「.pptx」など
- テキストファイル・・・・・・・・「.txt」「.nc」など
- 電子化された文書ファイル・・・「.pdf」
- CADファイル(2D)・・・・・・・・「.dxf」「.iges」「.dwg」など
- CADファイル(3D)・・・・・・・・「.sat」「.step」など

またアプリケーションのバージョンによって拡張子の表記が変わります。
例えば、エクセルの最新のバージョンだと「.xlsx」ですが少し前のバージョンだと「.xls」の表記になります。
このソフトのバージョンが違ったりするとファイルが開けなかったり、開けてもデータ内に使用してある色が変わってしまったりすることがあります。
例えば、エクセルのセルにピンクの色がつけてあったとして、バージョンが違うエクセルで開くと黄色に変わっていたりします。

大体の場合、古いソフトで作成したファイルを新しいソフトで開くことはできますが、新しいソフトで作成したファイルは古いソフトで開くことができない場合が多いです。その場合、古いバージョンで保存しなおす必要があります。

2 拡張子とは

拡張子とは各ファイルを区別させるために付いています。
「.」ドット以降の赤枠の部分で拡張子と言います。



拡張子は3文字や4文字程度のアルファベットでできており、OSはこの拡張子でファイルの種類を認識しています。
例えば、左図のファイルがダブルクリックされると、どのアプリケーションで開けば良いのか認識・判断し、ワードでファイルが開かれてくるのです。

この拡張子の部分を変更して、無理やり他の拡張子に変更はできますが、そうするとファイルが壊れ、またパソコンがどのアプリケーションと紐づいているのか分からなくなるのでファイルが開けなくなります。

2 フォルダとは

フォルダはP3「1.ファイルとは」で説明したファイルデータを分類して入れて、仕分け・保管するための入れ物です。

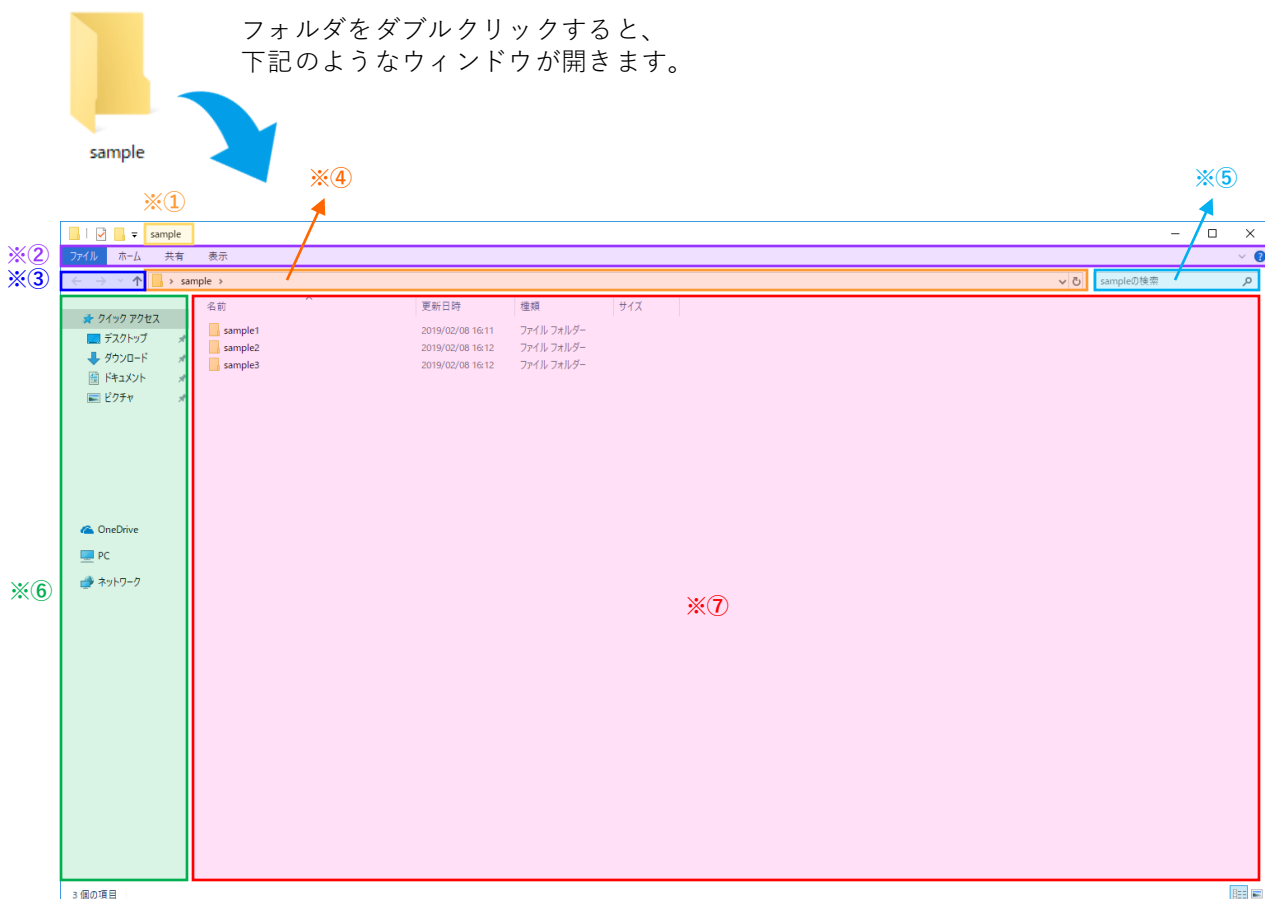
例えば、複数の各取引先ごとの何らかの文書をワードとエクセルで1ファイルずつ作成したとして、それが全てデスクトップ上に保存されていたら他のファイルと混ざって見つけにくかったり、管理しにくくなります。

そこでフォルダを作って各フォルダに取引先ごとの名前をつけ、その中に取引先ごとにファイルを入れれば、管理しやすくなります。

画像なども同じで撮影日や撮影場所などでフォルダ分けしておくとうわりやすくなります。

このようにすることでデータが整理され、作業がスピーディになり、効率化も図れるのです。

3-1.フォルダ内の見方



①現在開いているフォルダにつけられている名前が表示されます。

②ツールバーと言います。このフォルダに対しての設定、各種操作が行えます。

③このフォルダ内で一つ前の画面に戻れたり、先の画面に移動出来たりします。

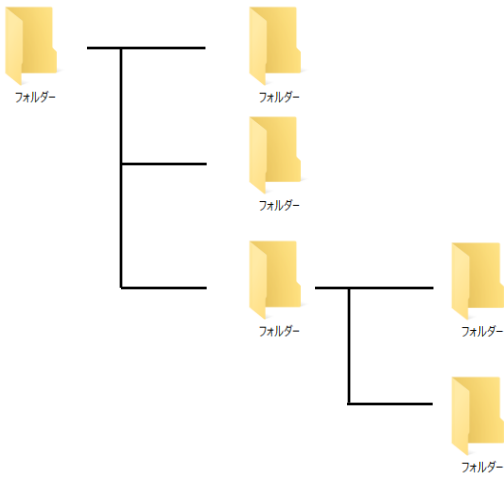
④アドレスバーと言います。フォルダーがどこの場所にいるか確認出来たり、今何階層目を見ているかわかります。

⑤ここでフォルダ内にあるデータを検索できます。

⑥ナビゲーションウィンドウと言います。よく使うファイルなどがピップアップされて表示されます。

⑦フォルダ内にあるデータがここに表示されます。

3-2.階層について



フォルダの中に更にフォルダを作成、また更に作成という風にどんどんとフォルダを作成し、整理することが出来ますが、できるならば必要最低限の階層にとどめ、あまり階層を増やしていかないほうが管理がしやすくデータも見つけやすくなります。

徹底的に分類しようとしてフォルダを何階層も作り、ファイルを細かく分類していたりしますが、それはかえって、どこにデータを入れたか若しくはどこに入れようか迷ってしまったり、そのフォルダにたどり着くまでに時間がかかってしまったりと悪循環が生まれてしまいます。綺麗にしているつもりでもそのことで手間を増やしていたりするので。

ですので、階層は必要最低限にとどめたほうが効率が良くなります。

また今現在、何階層目にいるかは下記図のように確認することができます。

PCの中の→Cドライブの中の→CiPSフォルダの中の→CiPS Factory Demoのフォルダの中にあることがわかります。



1階層目 2階層目
↓ ↓
C:\CiPS\CiPS Factory Demo
この「¥」マークは“階層”を示しています。